

広告特集

企画・制作 朝日エージェンシー西部



自覚症状が乏しい心疾患を発見する 心エコー(心臓超音波)検査

高齢人口の急増に伴い、「心不全」の患者数も増加している。特に、心不全の原因の一つである「心臓弁膜症」は、症状が一般的な老化現象と似ているため、気づかないうちに重症化する患者も少なくないという。「心エコー」(心臓超音波)検査による早期発見の重要性について、宮崎大学医学部機能制御学講座循環動態生理学分野の渡邊望教授に聞いた。



宮崎大学医学部 機能制御学講座
循環動態生理学分野 教授
宮崎大学医学部附属病院
ハートセンター 副センター長
わたなべ のぞみ
渡邊 望 氏

自覚症状の乏しさから 放置されがちな心臓弁膜症

心臓は、四つの部屋(左右の心室、心房)が規則的に収縮を繰り返すことで、肺で酸素を取り込んだ血液を全身に送り、酸素を届け終わった血液を再び肺に送る。血液のポンプです。血液の流れが常に二方向通行になるよう、四つの部屋はそれぞれ、血液の逆流を防ぐ「弁」によって隔てられています。

ところが、何らかの原因によって弁に異常が生じ、血液が逆流したり血流が妨げられたりすると、息切れや動悸、胸の痛みなどの症状が発生するようになります。これが「心臓弁膜症」という心疾患で、前者を「逆流症(閉鎖不全症)」、後者を「狭窄症」と呼びます。

先天的な原因などにより40〜50歳代で発症することもありますが、圧倒的に多いのは70〜75歳を過ぎたあたりから。そのため、弁膜症による症状を、年齢のせいと勘違いし、重症化するまで気づかずに放置してしまいうケースが非常に多いのです。

病変の早期発見に威力を 発揮する「心エコー」検査

四つの部屋にあるいずれの弁も弁膜症になる可能性があり、何が原因で、どの弁にどんな異常が発生しているのかによって、適切な治療法も異なります。

弁膜症の治療を大別すると、薬物療法、外科手術、カテーテルによる弁の置き換えや修復がありますが、タイミングを逃すと手術が困難になることもあります。したがって、できる限り早めに異常を発見して治療につなげることが心不全の悪化を防ぐ上で非常に重要なのです。

健康診断などの胸部聴診で異常な心音を指摘された方はもちろん、階段を少し上っただけで息切れする、高血圧の薬を服用しているなどの方は、心エコー検査を受けるようにしましょう。痛みもレントゲンやCTのような被曝も無い検査であり、近年は身近なクリニックでも検査できるところ

が増えつつあります。

未診断の患者を治療につなげる 「病診連携」の重要性

超高齢社会の到来で、「心不全パンプティック」という言葉が生まれるほど、心不全患者数の増加が顕著です。心臓弁膜症の手術件数も、2007〜2017年の10年間に53%も増えています(※)。

弁膜症をはじめ様々な心臓疾患の重症化を抑えるため、九州・沖縄地区の画像診断技術を高めるためのアカデミーが設立され、私が代表を務めることになりました。また、本学と宮崎市内のクリニックが病診連携することで、多くの地元の人々が気軽に専門外来を受診できる環境を広げたいと思います、私自身も地域のクリニックで外来診療をしています。

検査を受けることで、初期の心臓弁膜症でも発見可能なほか、心筋梗塞や心筋症などの心臓疾患が発見されることも少なくはありません。これまで普通に出ていたことが、最近は妙にきつく感じる・息切れする……などと感じている方は、まず、かかりつけ医に相談して、早めに心エコー検査を受けてください。検査して何も異常がなかったとしたら、ひとつ安心が増えますしね。(談)

※2020年日本胸部外科学会年次報告より

内科(循環器内科)・外科(心臓血管外科)・整形外科・皮膚科
小児科・放射線科・リハビリテーション科



医療法人
伸和会

延岡共立病院

理事長 赤須 郁太郎
院長 赤須 晃治

診療時間 平日 午前/9:00-12:00 午後/14:00-17:30
土曜日 午前/9:00-12:00

〒882-0037 宮崎県延岡市山月町5丁目 5679-1 ☎0982(33)3268

延岡共立病院

検索 🔍

医療法人 青葉会 のざきクリニック

理事長 野崎 勝宏

宮崎市宮崎駅東3丁目9-13
☎0985-61-7751